

氏名（本籍）	ハサン キラン（トルコ）		
学位の種類	博士（美術）		
学位記番号	博美第213号		
学位授与年月日	平成20年3月25日		
学位論文等題目	〈作品〉実演Ⅱ、シャーマンたちの対面、シャーマンたちの対面（37 サブ） 〈論文〉シャーマンのイメージによる視覚的暗示		

論文等審査委員

（主査）	東京芸術大学	教授（美術学部）	東谷武美
（論文第1副査）	〃	准教授（〃）	佐藤道信
（作品第1副査）	〃	講師（〃）	三井田盛一郎
（副査）	〃	准教授（〃）	小山穂太郎

（論文内容の要旨）

シャーマニズムは人類最古の宗教とされ、魔術や呪術に端を発する。自然界は天、地上、地下の三つの世界からなり、天には善、良い精霊が、地下には悪、悪い精霊が地上には人間が存在する。地上にいる人間は、地上と地下という二つの世界の間でバランスを取らなければならない。このバランスをとる役目を果たす人間をシャーマンという。シャーマンは精霊と人間の仲介役である。社会学者や歴史家は、このシステムの機能にシャーマニズムという名をつけた。シャーマンは良い精霊と接触し、人間への良い影響を持続させようとし、また悪い精霊に対しては、儀式を通じて説得し、自らの影響下におく。

シャーマンの重要な任務は、主に病人を治すことと、死者の魂を彼の世に送ることである。これ以外では、呪術を使うこと、雨を降らせること、うらないをすることなどがあげられる。しかしこれらの職務を遂行する以外は、彼らも日々悩みもする普通の人間であり、社会では一般の人と同様に生活する。

病気は巨人－神霊－悪魔などの悪い精霊が、人間の体に入ることによって起こるとされる。シャーマンによる治療は儀式を執り行うことで、病人の体に入り込んだ悪い精霊を追い出すというものだ。

シャーマンはまず衣装を着け、トランス状態に入り、助けとなる霊を呼び出す。次に病人に近づき、大太鼓を持って呪文を唱えながら息を吐きかけ、大太鼓をたたいて踊り出す。

こうしてトランス状態に入ったシャーマンは人間を恐れさせ、支配し驚かせるような動きをみせながら病人を影響下に置く。シャーマンは病人を影響下において安らぎを与え、同時に自身が発見した、あるいは修行中に習得した薬草による自然療法を行い、その後特有の動きをみせて、病人を病の精神状態から遠ざけようとする。

わたしの作品は総じて自分の文化、生活、夢に対する答えであり、わたしの内なる世界の清算である。イメージとその“瞬間”を表現・創造するとき、それは互いに関連すると考えられる。イメージとは、過去または未知のものを指す。それに対して、“瞬間”とは現在のことを指す。わたしはイメージを通して過去の経験を間接的に現在に呼び寄せ、視覚化しようとしている。イメージのここでの機能は、より内的なものを組み立てることにある。過去に経験した出来事は、我々の脳裏の刻まれ、潜在意識下に蓄積される。しかしそれは、ふとした瞬間意識上に浮上してくることがある。つまり、過去に起こったことが夢の中で姿を変えて現れるのである。

これまでのわたしの作品は、この解釈と一致する。

たとえば、“探す（歩いて考えるシャーマン）”は、この解釈との一致性を良く示している。まさに“夢

を見た”直後にできた作品であり、夢と関連している。

この作品にはイメージを強調するために、自分の写真を使用した。夢では、屈んだ状態で頭を上げることなく何かを探している。

春、5月に、チューリップの咲き乱れる起伏のある丘を。ときには黄色く熱い四角い舞台を、またときには緑の冷たい舞台を通り過ぎる。少し行くとわたしの前に階段が現れる。この絵はわたしが子供時代をすごした、そして記憶から消えることのない“村”の高原のイメージだ。潜在意識下から浮上してきて“思い出した”ことには、ほとんどの場合は、ある種の清算作業を伴う。清算作業は、イメージをもとにして行う。この清算とは、わたしが考えるに存在要求、あるいは自分を形成する文化的価値を認識することである。

文化的価値は作品というかたちで表現され、ときには自分の内的世界と対面し、過去の扉をたたいて懐古の情を言葉にする。またときには日常生活での出来事から影響をうけることで、表現や解釈が深まる。本で読んだことが、私にいろいろなことを連想させ、ヒントを与えたりもする。この連想が自分と過去を関連付けたとき、制作意欲が湧いてくるのである。

一本の糸の先をイメージするとき、頭の中ですぐにかたちになるか、そうでなければしばらく考える。もしこの糸がわたしの関心ごとであるなら、私に影響を与えるものであるなら、また感動を与えるものであるなら、必ず作品になる。作品になることで初めて安らぎを得る。

この清算活動、連想、ひらめきは、上述のように、過去に経験したことから来る。この経験は、記憶の中で描かれた絵画のようであり、創造によって日の目を見るのである。つまり記憶の中にある経験が違った形で出現するのである。

これを潜在意識下の隠された絵—止まった時間—とわたしは呼びたい。そしてそれらを視覚的な状態にしようと努めるのである。